

日本社会学会の取組み

- 日本社会学会(The Japan Sociological Society)は、社会学の研究を促進しその発展普及を図ることを目的とする全国的な研究者組織である。
- 現在3600名をこえる会員を擁し、学会大会の開催や機関誌の発行などの学会活動をおこなっている。
- 毎年秋に開催される大会では、自由報告部会のなかに災害部会が設けられ、活発な報告が行われているほか、テーマセッションで災害・防災・復興が取り上げられたこともある。
- 機関誌である『社会学評論』では東日本大震災に関する特集が生まれ、防災・復興に関連する論文が掲載されてきた。

昨年度の大会の災害部会での報告事例

- ★東日本大震災後の住宅復興におけるコミュニティの形成(1)(2)(3)
- ★津波被災地における地域コミュニティの存立要件～東日本大震災被災地における地域コミュニティの解散過程の分析を通して～
- ★住宅復興プロセスにおける行政と地域社会のコンフリクト～石巻市雄勝町の事例から～
- ★熊本震災と社会関係資本～とくにフリーライダーの意味について～
- ★地域社会学的災害研究から見た熊本地震と地区防災計画